

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xi.commuja.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.561 2024.10.31
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP 検索

*困り事は早めにお気軽にご相談ください



自民・裏金政治NO! の厳しい審判下る 比例東海ブロック、もとむら伸子さんの議席確保

総選挙への大きなご支援 ありがとうございました

10月27日投開票の衆議院選挙で、日本共産党は現有10議席から8議席に後退。比例東海ブロックでは、もとむら伸子候補の1議席を確保しましたが、すやま初美候補の議席獲得はならず、悔しい結果となりました。ご支援いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の選挙は、金権腐敗政治の一掃、暮らしと経済、平和外交、気候危機の打開、ジェンダー平等など、あらゆる問題で行き詰まった自民党公明党政治の転換が求められる選挙となりました。

日本共産党としんぶん赤旗は、裏金問題で自公政権を過半数割れに追い込む決定的な役割を果たしましたが、それを議席増へと結びつけることができませんでした。

政治の新たな大激動のもとで、今後、企業・団体献金の禁止、紙の健康保険証の存続、選択的夫婦別姓、学費値上げストップ、物価高騰を上回る賃金の引き上げ、消費税減税など、国民の切実な願いにどう応えるのかが、各党に鋭く問われることとなります。

日本共産党は、あらゆる分野で運動をおこし、総選挙で掲げた公約の実現のため全力をあげる決意です。



投票日翌朝、街頭から公約実現の決意を述べる、もとむら伸子候補(左から2人目)と、すやま初美候補(左端)

総選挙の結果(江南市関係分)

	比例得票	比例得票率	松崎得票	松崎得票率
江南市	2800票	6.43%	2568票	5.97%
愛知県	17万8900票	5.52%		
全国	336万2千票	6.16%		



総選挙開票直後から、しんぶん赤旗の購読申込が急増

「自公を過半数割れに追い込んだのに、議席減って残念。応援したい」

自民党のパーティー券収入をめぐる裏金問題に加え、自民党が裏金非公認候補へ政党助成金から2000万円を支給していたことをスクープした、しんぶん赤旗。立憲民主党大躍進の最大の功労者は、しんぶん赤旗です。今こそ、感謝の気持ちを示そうと、開票直後から日本共産党本部への

購読の申し込みが急増しているそうです。

日刊赤旗電子版は、3週間無料でお試し購読ができます。3週間すれば、自動解約になります。申し込みは →



都市農業でまちおこし「国分寺野菜のブランディング」を行政視察

掛布議員は建設産業委員会で東京都国分寺市の「こくベジプロジェクト」を行政視察しました。



だいち、いのちになる

生産緑地で生産された、少量多品目の国分寺産野菜等を「こくベジ」とネーミング。こくベジを使ったオリジナルメニューを提供する飲食店をPRし増やすことを通じて、農業振興と商業振興、観光振興を合わせて成し遂げる、非常にユニークな取り組みでした。農家や飲食店、市、JA、商工会、観光協会、企業やNPOまで参画する、まちぐるみのプロジェクト推進連絡会を発足させて、次々にプロジェクトの中味を充実・発展させていました。国分寺らしさを市内外に広くアピールし、国分寺ブランドを確立。地域の活性化までつなげることができていました。

「だいち、いのちになる」「国分寺三百年野菜」のキャッチコピーなどPRが上手く、農家や地場産野菜に対する敬意も感じられました。市民有志が「こくベジ号」という車でとれたての野菜を農家から飲食店に届ける仕組みもありました。

狭い生産緑地を活用し兼業農家を中心に、東京でここまで農業振興ができるのならば、江南市でも新規就農者を核として、創意工夫と関係者の連携で、今からでも江南野菜のブランディング、農業振興、地域おこしができるのではないかと希望が持てた視察でした。